

より良い防災体制の 構築を目指して！

～ 東日本大震災の体験を生かして～

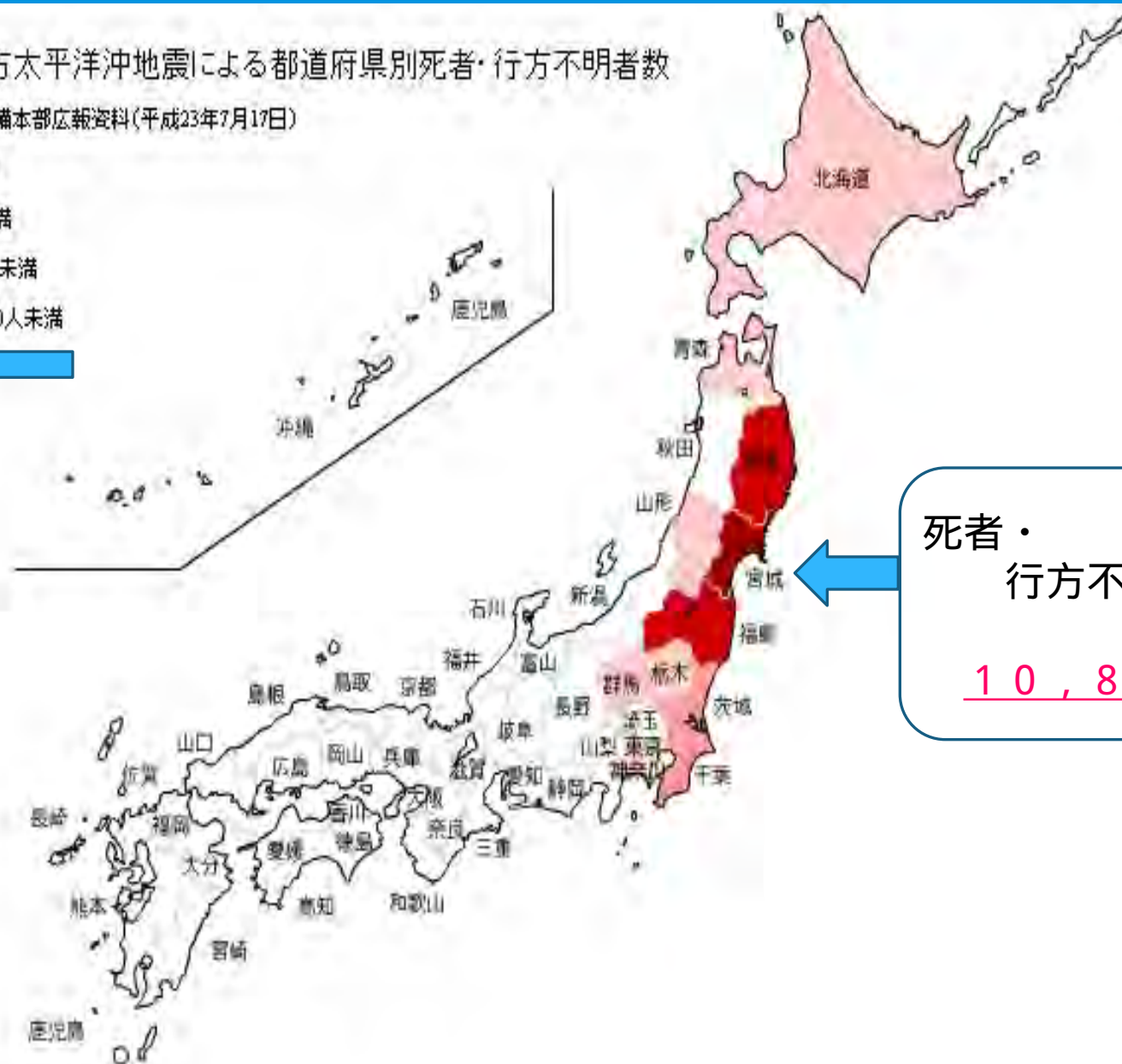
宮城県立石巻支援学校
主幹教諭 片岡 明恵

2011年

3月11日

平成23年東北地方太平洋沖地震による都道府県別死者・行方不明者数

出典 警察庁緊急災害警備本部広報資料(平成23年7月17日)



死者・
行方不明者

10,849名

日常生活・家族の笑顔・希望・命・・・



学校が大好き！

狩野 悟君(享年18歳)

東北の沿岸自治体で最も多い397人の患者が犠牲となつた石巻市。難治性でんがん、気管軟化症と闘う狩野悟君（当時17）は、自宅で津波に遭い命を落とした。

悟君はあの日、母由紀さん46・弟拓磨君（9）の3人で自宅にいた。由紀さんは激震が襲つた際、寝たきりの悟さんにタンクスが倒れないよう、必死で押さえた。

自衛隊の拓磨君は首に刺さる感で、ラジオの音でもハニツクに陥る。電源を入れられず、地震や津波の情報は今も入まらなかった。

倒れる家具がない居間に悟君をベッドごと移し、窓の外を見ると、黒い水の壁がすぐそばに迫っていた。平屋の家は逃げ場がなく、拓磨君と慌ててベッドの上で避難。由紀さんは「もうだめだ。3人で死ぬんだ」と覚悟した。

家の中に津波が押し寄せ、ベッドですすずれの高さまで浸水した。人工呼吸器やたんの吸引機などの医療機器は水に浸かり使えなくなった。

たなが吸引できず、苦しそうな悟君。由紀さんは声を掛けながらすつと背中や胸をさすって励ました。午後9時ごろ、息を引き取った。

悟君の体重は43㌔。避難時には、人工呼吸器やたんの吸引機などを通り越して、世の中になつてほしい」

3月11日

宮城 鎮魂の日



避難所となった 石巻支援学校

1 避難所となった石巻支援学校

3・11(金) 小・中学部卒業式



1 避難所となった石巻支援学校



1 避難所となった石巻支援学校



1 避難所となった石巻支援学校



14:46 M8.8 震度6

凄まじい地鳴り

立っていられないほどの大きな揺れ

*** 宮城県沖地震への備え ***

- ・戸棚等の固定 ← 備えの大切さ
- ・窓ガラスに飛散防止フィルム
- ・壁の亀裂 床の段差程度の被害

雪

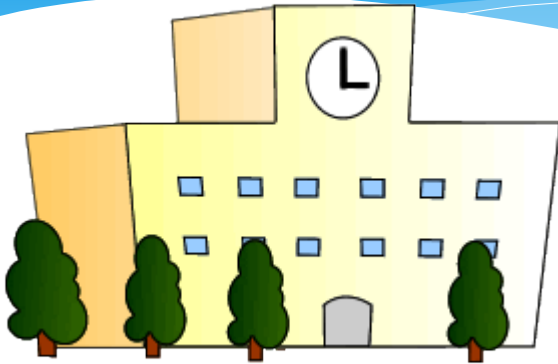
余震

停電

電話不通

断水

1 避難所となった石巻支援学校



学校が避難所へ！



必ず地域の方が避難してくる。
学校は地域と共にある。



現在の情報が得られない不安
命を守ることの不安
見通しのない不安

1 避難所となった石巻支援学校



1 避難所となった石巻支援学校



1 避難所となった石巻支援学校



1 避難所となった石巻支援学校



ENEOS

1 避難所となった石巻支援学校



1 避難所となった石巻支援学校



1 避難所となった石巻支援学校



1 避難所となった石巻支援学校



石巻地方の浸水区域

学区の多くが
壊滅・浸水



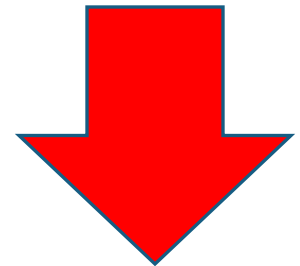
本校



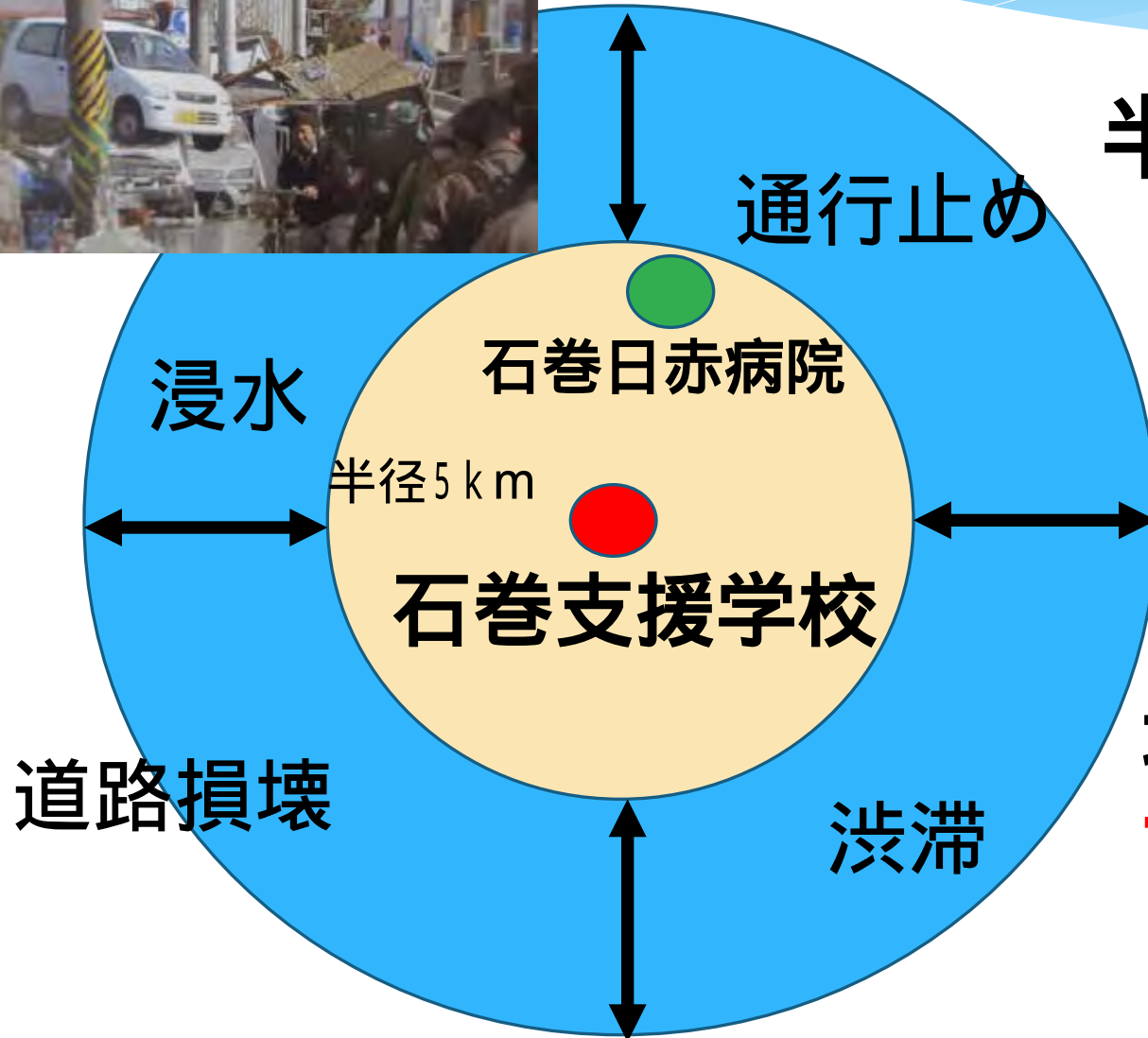
1 避難所となった石巻支援学校



半径5キロ
限られた
避難者



地域で避難
するしかない
9割



1 避難所となった石巻支援学校

3・11～5・8(59日間) 避難所

石巻支援学校

在校児童生徒の家族 13家族



小学部 5名(自閉症2・肢体不自由2・訪問1)
中学部 4名(自閉症2・肢体不自由1・重度重複1)
高等部 4名(自閉症3・知的1)
卒業生 2名(自閉症1・知的1)

地域・帰宅困難の方 41名



学校周辺の方々

単身及び介助の必要な高齢の方 21名



全介助(排泄・体位変換・食事・着替え・服薬管理・心のケア)
半介助(移動介助)・徘徊

**食料・物資
不足**



情報不足

人手不足

1 避難所となった石巻支援学校

多くの救いが避難所運営の支え

段階	期 間	困難さ	内 容
	3 / 11 ~ 16	食料難 物資不足	地域の方の救い 
	3 / 16 ~ 22	人手不足	県の救い 仲間の救い 
	3 / 23 ~ 31	専門性 不足	養護教諭の救い 
	4 / 1 ~ 5 / 7	情報不足	行政支援の救い
	5 / 8		避難者の救い

宮城県教育庁の視察

・公用車の貸出 ・支援学校からの応援体制

二泊三日交代 3月一杯
スーパーサポート！

金成支援学校



石巻支援

古川支援学校
小牛田高等学園

名取支援学校



船岡支援学校

精神的・物理的な支え

1 避難所となった石巻支援学校

多くの救いが避難所運営の支え

段階	期 間	困難さ	内 容
	3 / 11 ~ 16	食料難 物資不足	地域の方の救い 
	3 / 16 ~ 22	人手不足	県の救い 仲間の救い 
	3 / 23 ~ 31	専門性 不足	養護教諭の救い 
	4 / 1 ~ 5 / 7	情報不足	行政支援の救い
	5 / 8		避難者の救い

- ・学校は**地域**に守られている
- ・**他校**の教職員との連携で専門性の向上がある
- ・**行政**ともっと近い関係作りが必要
- ・障害のある方とない方が**共に過ごす**当たり前が生む大きな意味
- ・自ら**命を守る**方法をもつ必要性

防災

日々の備え(ハード)

- ・耐震
- ・備蓄
- ・システム整備
- ・心の構え

ネットワーク(ソフト)

- ・人のつながり



震災時の子供たち

本校に避難した子供たち

3 / 11 ~ 16 「どこにいるの？」

3 / 16 以後 自閉症の男の子の限界
重度重複障害児童の限界



知的障害
肢体不自由

共に過ごす

自閉症

日増しに募る
不安

重度重複障害

体力の限界

安否確認の実施

- 現在の状況把握 ●
子供の様子
家庭の生活の様子
保護者の様子
「聞くこと」「心をほぐすこと」

家庭訪問の実施

- * 記録表に記入
- * 学校で確認
- * 必要な支援の検討

保護者の言葉 「うちは大丈夫です」

- 1 物音に過敏 固まることが多くなった
- 2 外に出ようとしない
- 3 自傷行為と他傷行為
- 4 食欲不振とおう吐
- 5 退行現象(指しゃぶり・夜尿・抱っこ)
- 6 「おうち壊れちゃった」

子供の行き場

保護者支援

「子どもの広場」の実施



2 震災時の子供たち



2 震災時の子供たち

 **立野** 校訓 一敬愛
たての 教 明 進 進 進
愛 情 康 康 康

石巻支援学校 学校便り 平成23年度 第6号 平成23年10月1日発行

感動!みんなで運動会

地域で育つ石巻支援学校の新たな一歩

10月1日、どこまでも高く澄み渡る秋空の下、震災復興を祈る石巻支援学校の運動会が盛大に開催されました。広々としたトコと一面の芝生に整備された校庭で繰り広げられる数々の感動の技に、保護者の皆様をはじめ、共に震災からの復興に向けて尽力してきた地域の方々などたくさんの方々から大きな声援を頂きました。



大きな声援の中、堂々と入場行進をした小学部、中学部、高等部の児童生徒。

 **立野** 校訓 一敬愛
たての 教 明 進 進 進
愛 情 康 康 康

石巻支援学校 学校便り 平成23年度 第7号 平成23年11月1日発行

虹色に輝け!

感動!夢いっぱい!笑顔いっぱい!の学習発表会



子どもたち一人一人の個性が光る各学部のステージ発表。「小・中学部のみんなに楽しんでほしい」と高等部生徒が企画したお楽しみ広場にはたくさんの笑顔がありました。フィナーレではみんなでテーマ曲『虹』を踊り、歌いました。大きな輪になった子どもたちそれぞれの輝きは七色に輝く虹のようでした。




高等部会演「いつも何度でも」 小学部1~4年「たのしい!だいすき!春・夏・秋・冬」



2 震災時の子供たち



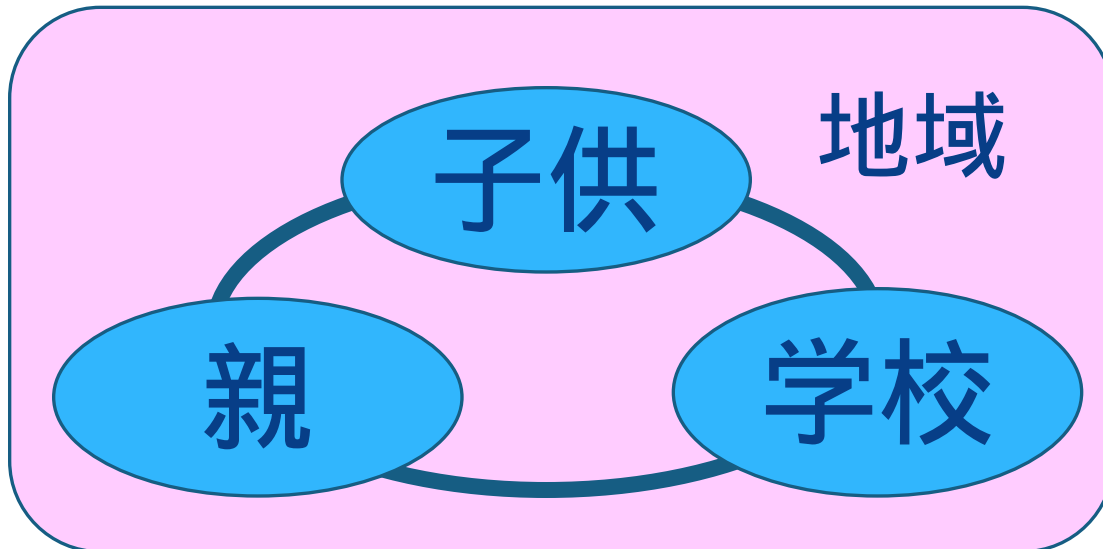
2 震災時の子供たち



学校にしかできない学校の役目

「笑顔！」「歓声！」「涙！」

「学校は子供に生かされている！」



不適応行動の
減少

保護者の笑顔

学校の活性化

日常の教育活動の有用性



障害種別に見る 子供たちの震災時の様子

3 障害種別に見る子供たちの震災時の様子

肢体不自由のMさん

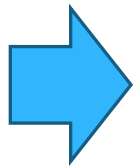


肢体不自由のMさん

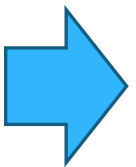


- ・自宅周辺が水没

- ・地震に対する恐怖で食事が取れなくなる
1ヶ月の間に10kg減



「岩のように」動かそうとしても動かないんです・・・



いざという時、自分で咄嗟に逃げられないことの恐怖感

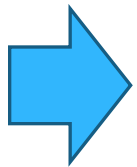
3 障害種別に見る子供たちの震災時の様子

**何かあったら大人が守ってくれる。
大丈夫。**

と思える学習が必要！

知的障害のTくん

- ・在籍していた地域の小学校で1カ月の避難生活
- ・同級生や教員が声をかけてくれる
- ・外に出ようとしなくなる



「おうちに帰ろう」が口癖。体重の増加。

**心の声を
しっかり聞き寄り添う支援！**

**何らかの方法で
自分の気持ちを外に伝える方法を
学習しなくてはならない！**

重度・重複障害のRさん

- ・自宅で人工呼吸器による生活

母親のとっさの判断。

大地震 → 津波 → 高台へ

大地震 → 停電 → 病院へ

イマジネーション。



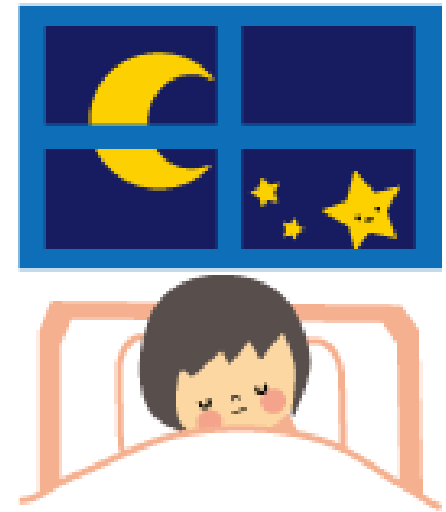
- ・命が繋がる

**非常時の状態を
いかに瞬間的に予測できるかどうか。**

この判断力が生死を分ける！

重度・重複障害のAさん

- ・ 24時間絶えず吸引が必要
- ・ 自宅周辺の街は壊滅
- ・ 車で避難生活
- ・ すぐにおむつがなくなる
経管栄養がなくなる



重度重複障害の同級生の家へ
命がつながる

**普段から
人とつながっておくことが
命 網 ！**

自閉症のYくん

- ・石巻支援学校に避難
- ・偏食のため食べるものがない
- ・不安から手の甲のかきむしり→化膿→病院
- ・母親家の片付けへ→不安から不適応行動
- ・自宅を見せに行く→14年で初めての涙
- ・教員が自宅からテレビゲーム



状況の理解

食べられるもの・人とのかかわりが豊かになる。

自閉症のMくん

- ・地域の中学校に避難
- ・不適応行動が強く、周囲に目に耐えられず、3月末、石巻支援学校に避難
- ・「ホンダ。ブルンブルン。おうち帰る。」
母親 片時も離れられない状態

刺激過多によるストレス
入所後行動が落ち着く
震災後学校に遊びに来る

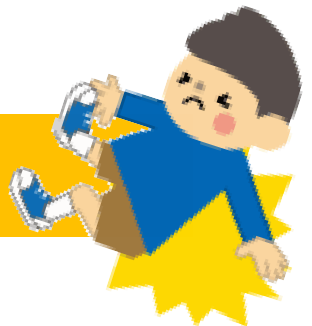


自閉症のRくん

- ・住んでいた街一帯 津波に飲み込まれる
- ・家族で山に避難 車で避難生活
- ・一週間後、石巻支援学校に避難
- ・居場所を見つけれない→ 突発的に発熱
→ 自傷行為 → 不安定 → 無気力



自傷行為の悪化 家族の涙 ゆっくり



3 障害種別に見る子供たちの震災時の様子

**子供たちに
好きな活動をいくつか
身につけられるようにしてあげること**

大切な生きる力！

3 障害種別に見る子供たちの震災時の様子

子供たちの姿から・・・

- ・時間の経過が捉えにくい困難さ
- ・忘れられない負の記憶に対する困難さ

保護者の姿から・・・

- ・「助けて」となかなか言えない困難さ

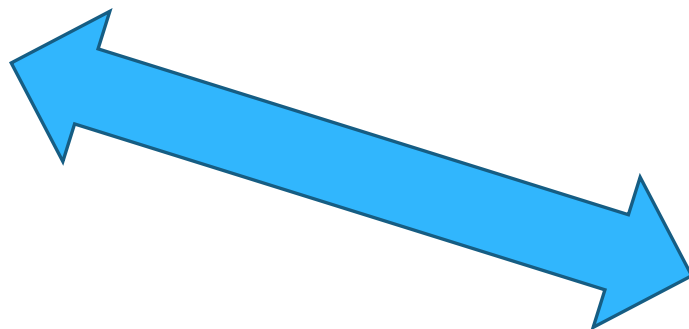




3 障害種別に見る子供たちの震災時の様子



「助けてください」



「手伝いましょうか？」



受 援 力



保護者と学校の変化

保護者の気持ち



← 図書室作り



4 保護者と学校の変化



障害の理解啓発



「ハートパッチ」は
「我が子に障がいがあることを
周囲の人に理解してもらい、
温かく見守って欲しい」
という願いで作りました。
応援よろしくお願いします。

パッチグー 大作戦 石巻展開中!!



ハートパッチは地域に住む障がいがある方にも
付けていただけるように実費でお付けしています。
本校父母教師会事務局までお電話ください。

宮城県立石巻支援学校父母教師会
TEL 0225-94-0202

4 保護者と学校の変化



つながろう！



地域との
連携



防災体制の見直し

通学バス避難場所の指定

地区割担当職員の指定

災害用児童生徒名簿の整備

災害用備蓄品の整備

体験的防災教育の実施

迷わない・冷静かつ迅速な判断・安心→命を守る
イマジネーション力を研ぎ澄ます！ ←ヒヤリハット

① 通学バス避難場所の指定



4 保護者と学校の変化

通学バス避難所指定

	鳴 瀬 コース — 090 - 6087 - 2214 —		桃 生 コース — 080 - 3658 - 4535 —		石 巻 コース — 080 - 3658 - 4522 —		牡 鹿 コース — 080 - 3658 - 4592 —		女 川 — 080 - 3658 - 4592 —	
始発	7:31	内響川下地区センター (東松島市川下)	7:20	八雲神社東 (桃生町牛田)	7:50	食い処しゅん前 (新栄二丁目)	7:30	大原バス停 (大原浜字町)	7:43	沢
終着	15:57		16:10		15:37		16:01		15:35	
1	8:00 15:30	広淵小学校 (桃生)	7:35 15:55	中津山第二小学校	8:00 15:30	石巻専修大学 (北上)	8:15 15:20	鹿妻小学校	7:45 15:30	老人ホ
2	8:40 14:45	矢本第一中学校 (桃生)	7:40 15:50	中津山第一小学校	8:00 15:30	石巻商業高等学 校	8:15 15:20	市営住宅アパート 群	7:50 15:25	イオン ンター
3	8:40 14:45	矢本東小学校 (桃生)	8:05 15:25	前谷地小学校	8:05 15:25	住吉中学校 (牡鹿, 女川, 北上)	8:25 15:10	昭和マンション	7:50 15:25	万石
4	8:40 14:45	東松島高等学校 (桃生)	8:20 15:10	北村小学校	8:05 15:25	東部土木事務所	8:30 15:05	開北小学校 (女川)	8:00 15:15	鹿妻 (牡鹿)
5	8:50 14:35	石巻西高等学校	8:20 15:10	広淵小学校 (鳴瀬)	8:05 15:25	合同庁舎	8:30 15:05	住吉中学校 (石巻, 女川, 北上)	8:00 15:15	法
6			8:25 15:05	矢本第一中学校 (鳴瀬)	8:05 15:25	石巻郵便局	8:35 15:00	中里小学校 (北上)	8:10 15:05	開北 (牡鹿)
7			8:25 15:05	矢本東小学校 (鳴瀬)	8:05 15:25	住吉小学校	8:45 14:45	蛇田小学校 (北上)	8:10 15:05	住吉 (石巻, 牡鹿)
8			8:25 15:05	矢本西小学校	8:10 15:20	石巻市役所	8:50 14:40	イトーヨーカドー石 巻あけぼの店	8:20 14:55	石巻 (牡鹿)
9			8:25 15:05	東松島高等学校 (鳴瀬)	8:10 15:20	石巻小学校 (女川)	8:55 14:35	イオン石巻ショッピ ングセンター	8:20 14:55	石巻 (牡鹿)
10			8:25 15:05	大曲小学校	8:25 15:05	大街道小学校			8:40 14:45	山下

② 地区割担当職員の指定

③ 災害用児童生徒名簿の整備



2 地区割担当職員の指定

3 災害用児童生徒名簿の整備

平成24年度 災害時緊急連絡先・地区担当者一覧

学部	学年	名前	住所・☎	主担当	副担当	第一 連絡先	続柄	所有者名	第二 連絡先	続柄	所有者名
小	1	石巻太郎	石巻市山根 12 - 3 (45 - 6789)	伊藤	田中	090 1234 - 5678	母	石巻花子	090 9876 - 5432	父	石巻三郎

緊急時は携帯電話。第三連絡先までの一覧表。
地区担当者(複数原則)の明示。迅速な安否確認。
厳重な取り扱い。

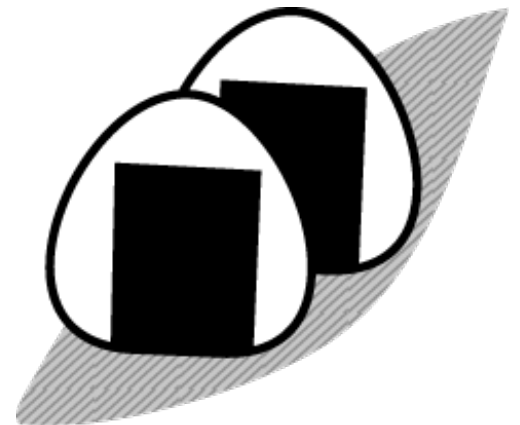
非常災害時 安否確認チェック表

	氏 名	連絡先☎	自宅等到着 確認時刻	所在場所	人的被害	物的被害
	石巻太郎	090 - 1234-5678				

自宅に到着した時刻の記入
 自宅以外の場合，居場所の記入
 本人，家族等の怪我など
 家屋ライフラインの被害

推測ではなく確実に把握する。
 聞き漏らしを防ぐ。

④ 災害用備蓄品の整備



4 災害用備蓄品の整備

- 1) 発電機3台確保
- 2) 児童生徒150名・職員100名・地域住民50名
300名×6食(一日2食・3日分)の確保
クラッカー・アルファーマイ・氷砂糖等
- 3) 5年保存水(2リットル)300本(一人一本)
- 4) 医療的ケア児童生徒用 医療食と薬
- 5) 吸引器(足踏み式・手動式)
- 6) 寝具・懐中電灯・石油ストーブ・ラジオ・カイロ
救急薬・消毒用アルコール・電池

保護者の積立・義捐金。定期的な入れ替え。

4 保護者と学校の変化

非常災害時持参用品

新田綾女
一時避難
吸引器

1日目の荷物

- ・吸引カテーテル (8F, 6F) 1本ずつ ・清浄綿2枚
- ・デスポグロブ1個 ・ステリコット(前面消毒綿)30枚
- ・Yガーゼ1枚 ・綿棒3本 ・人工鼻1個
- ・水(550ml)1 ・オスバン液0.025%1本
- ・おむつ(大・小)5枚ずつ ・おしりふき1つ
- ・ビニール袋 ・タオル(大・小)1まいずつ
- ・除菌ジェル1つ ・除菌アルコールティッシュ1
- ・薬の処方せん1枚 ・薬(朝・夜)1日分
- ・ミルクボンS(乳首除菌剤)1箱
- ・ラコール4個

2、3日目の荷物

場所: 看護部控室
長期休業期間中も学校保管



www.shutterstock.com - 100823083



⑤ 体験的防災教育の実施



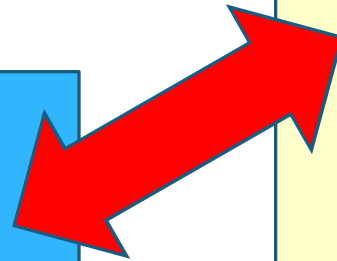
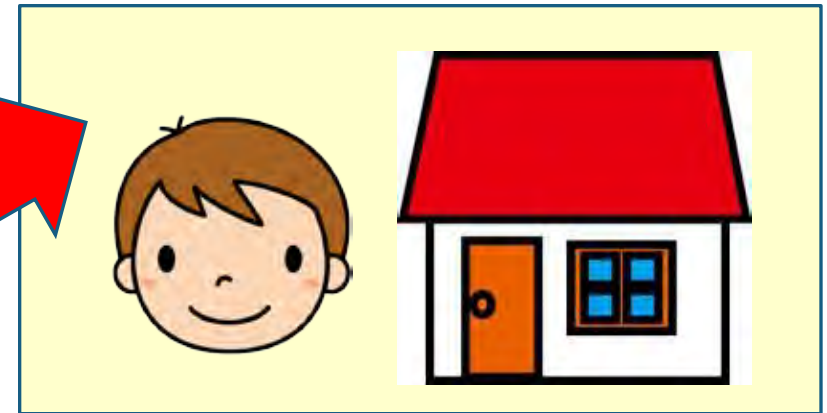
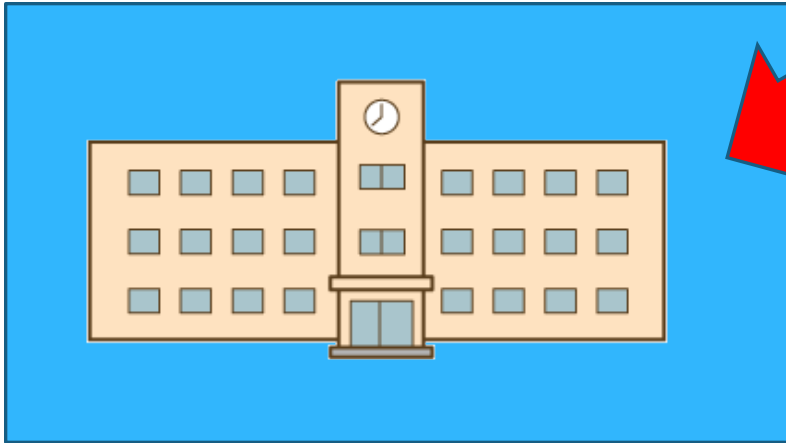
- 1 地震を想定した避難訓練
- 2 火事を想定した避難訓練
- 3 不審者対策の避難訓練
- 4 津波を想定した総合的避難訓練
- 5 保護者の引渡し訓練

迷わない・焦らない・安全安心な行動
→ 命を守る

イマジネーション力を研ぎ澄ます！
→ ヒヤリハットの共有

地域との絆 = 命を守る

子供が持つ二つの生活空間



日ごろから
地域とつながる

学校として

関係諸機関との連携

- 学校として ●
- 外部機関とつながる
- 学校を開く機会(ブログ)
- 障害の理解啓発

地域との連携

- 保護者に対して ●
- サービス利用
- 地区別集会
- 居住地校交流

個別の教育支援計画の
活用

4 保護者と学校の変化

11 SOSシート

< 緊急対応 一覧 >

(石巻 太郎)は
「 自閉症 」の障害があります。
下記の支援があれば、障害による状態が
だいぶ改善されます。

お子さんの
写真添付

障害により次のような
状態が見られます

・
・
・
・

こんな時は	このように支援をお願いします

連絡先	優先順	名 前	連絡先・ 電話番号
服用中の薬と 服用回数等			
かかりつけ 病院			
緊急時対応の 医療機関			
生活上 必要なもの 経管栄養 落ち着く物			
安心して過ご す必要な条件			
てんかん・ パニック等 への対応			
その他、お伝えしたいこと			

4 保護者と学校の変化

石巻の重度障害児家族 生活再建に悩み

医療的ケア不可欠 地元施設なく

祖母宅に「仮設住宅望み」

重度障害児の家族は、生活再建に悩んでいる。石巻市には、重度障害児の家族が、生活再建に悩んでいる。石巻市には、重度障害児の家族が、生活再建に悩んでいる。



仮設住宅と自立 戸惑い

「優先枠回ってこない」



登校する綾女さんを抱いて表に出る理恵さん。玄関の段差ひとつにも注意が必要だ＝20日午前、東松島市大塩

健占

行政との連携

学習会の立ち上げ



本校保護者

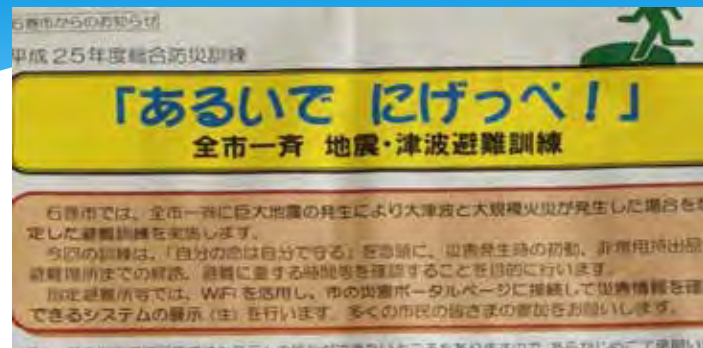
大学教授

社会福祉協議会

町作りのプロ

本校OB保護者

施設立ち上げののプロ



石巻市一斉 地震・津波避難訓練 2013・10月

津波避難先一覧

津波避難場所	避難生活避難所
35 河南中央公園 Wi	7 和渕小学校 Wi
	8 河南農村環境改善センター Wi
	9 河南東中学校 Wi
	12 宮城県石巻北高等学校
	14 鹿又小学校 Wi
	18 須江小学校
	21 広瀬小学校 Wi
	25 北村小学校 Wi
緊急一時避難所	33 河南西中学校 Wi
17 山根中停転作推進集落センター Wi	34 遊楽館 Wi
	40 前谷地小学校 Wi

地区ごと 津波避難先一覧配布

避難訓練アンケートの配布



これから・・・

自助

共助

公助

避難に有効な声掛けのポイント

強い命令口調

明解な動作

津波が来る
早く逃げろ!

簡潔な理由

強力な
リーダーシップ

**避難誘導の
ポイント**

チェックしてみよう ☒ 木村さんが勧める非常持ち出し袋の中身(基本編)

5 これから・・・



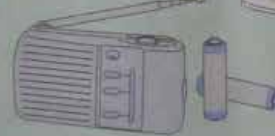
☐ 水(最低でも1人1リットル)



☐ 火を使わなくても食べられる食料
(ペットの分も)



☐ 携帯ラジオと電池



☐ ローソク



☐ 軍手



☐ タオル



☐ 筆記用具



☐ 現金



☐ 懐中電灯と電池



☐ 救急セット



☐ ビニール袋(ゴミ袋)



☐ 衣類(下着、防寒着など)



☐ ライター



☐ 預金通帳の番号の控え、保険証・免許証のコピー



☐ 携帯電話と電池式充電器



チェックしてみよう！ 持ち出し袋の中身

石巻支援学校の取り組み



5 これから・・・



中等部の女子生徒の持ち出しリュックの中身。水、食べ物のほか、お気に入りの縫いぐるみと本が入っている＝仙台

光明支援学校（仙台）

教室に各自非常持ち出し袋

・通学
・地区
・第3
・50人
・体

搬送され、介助の度合いに応じ、
て教室に分けた。不安が行動に

も
リストに、家族写真を
専門家もいる。写真は、
捜す際の手掛かりとし

光明支援学校の取り組み

大災害の場合

5 これから・・・

災害直後3日間



地域の
受け入れ



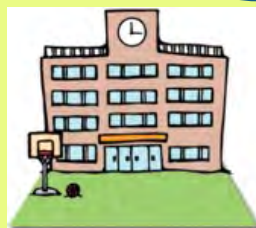
福祉
避難所

公民館・集会所
高齢者施設

地域に
住み分け

障害児者の
最後の砦

安心を！



行政との連携

5 これから・・・



悲しみを希望に！
風化させない・・・

